

役員紹介



1 代表取締役社長 高橋 弘二

社長室、
秘書室、
内部監査室、
特定事業企画室担当

2 代表取締役専務 中村 一男

生産機構総括、推進機構総括/
購買本部、
海外事業本部、
事業機構総括
CSR・リスク管理推進本部担当
最高情報セキュリティ責任者

3 社外取締役 瀧野 裕之

4 社外取締役 山田 恒太郎

5 取締役 榊原 俊哉

推進機構担当/
事業管理本部、
経理・財務本部、
情報システム本部担当
最高財務責任者

6 取締役 齋藤 修

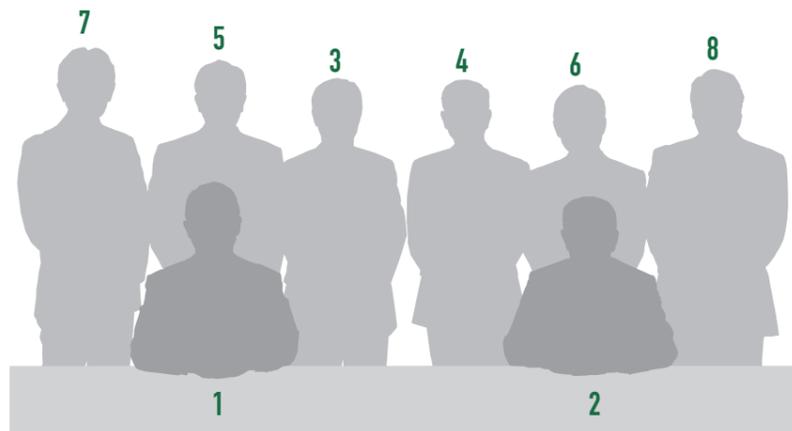
生産機構担当/
各製造事業所、
施設・設備本部担当
CSR・リスク管理推進本部部長

7 取締役 多田 和資

事業機構担当/
各事業部、
新規事業開発本部担当

8 取締役 小城 義尚

技術機構総括/
技術管理本部、
合成研究本部、
分散研究本部担当



CONTENTS

- 役員紹介/目次/編集方針.....01
- トップメッセージ/企業理念03
- 私たちが大切にしてきたもの05
- 私たちが提供する価値.....07
- 会社概要/連結決算ハイライト/ TOPICS09
- 経営方針・経営指標.....10
- 大日精化グループネットワーク11
- 事業部紹介.....12
- 研究開発部門紹介.....15
- 社会性報告 CSRとマネジメント17
- 社会性報告 お客様とのかかわり21
- 社会性報告 地域社会とのかかわり25
- 環境性報告 環境マネジメント27

03 トップメッセージ

時代の変化に合わせて成長し、
CSRを推進していきます。



代表取締役社長

高橋 弘二

05 私たちが大切にしてきたもの

お客様の声に耳を傾け、
ものづくりを通して
課題解決を提案しています。



07 私たちが提供する価値

「彩り」と「アイデアをカタチにする」
化学メーカーです。



編集方針

当社は2005年度から「環境報告書」を、2010年度から「社会・環境報告書」を発行してきました。2013年度からは会社案内の機能を追加して「コーポレートレポート」と改称しました。
本レポートはステークホルダーの皆様へ、当社グループの事業内容とともに、社会性及び環境管理活動に対する考え方と取り組みをわかりやすくお伝えできるように作成しています。

● 報告対象範囲

当社及び当社国内グループを対象としています。環境性報告は当社及び当社国内グループの生産・サービス拠点 14ヶ所の実績を掲載しています。

● 報告対象期間

2017年4月1日～2018年3月31日
※ただし、一部事柄については、本対象期間外の活動も含まれます。

● 参考ガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン 2012年度版」

時代の変化に合わせて成長し、CSRを推進していきます。



代表取締役社長

高橋 弘二

グローバル化と人材育成について

この数年、訪日する海外からの観光客が増えており、「モノ消費」だけでなく、「コト消費」も注目されています。帰国する際のお土産は日本製日用品の人気が高く、帰国後あるいはこのお土産をもらった人が、その後も使い続けることが多くなっていると聞きます。

少子化高齢化、人口減少といわれていますが、国内消費のみとみられていた分野でもグローバル化が起こっており、国境という概念は今後、さらに少なくなっていくのかもしれませんが、当社も経営方針としてグローバル化を掲げて、海外拠点の整備・増強を進めるとともに、外国籍の方を社員として迎えるなど、グローバル人材の育成、ダイバーシティを推進していきます。

成長し続けることができる企業を目指して

最近、企業の「年齢」を考えるとときがあります。当社は今年、創業87年を迎えます。企業の寿命は人間のそれと違って、人間の臓器や細胞に当たる、社員や設備を常に更新し生命を維持していきます。従って、企業には寿命というものは、存在しないと考えます。

当社は壮年期にあると考えますが、人間においては精神的にも肉体的にも完成し、最も充実した時期だと思えます。企業においても幾多の危機を経て、安定した経営基盤を構築し、最も社会貢献ができる時期だと考えます。しかし、壮年期はチャレンジ精神を失ったり、あるいはコーポレート・ガバナンス体制を改善する努力を怠り、機能しなくなることも起こりえます。

当社は健康でバランスのとれた壮年期企業たるべく、ダイバーシティを推進して柔軟な思考力や行動力を保つこと、地道な努力を重ねて技術革新を進め、新市場参入や新分野創出にチャレンジすること、コーポレート・ガバナンス体制の強化・充実を進めること、これらをバランス良く推し進めることにより、当社は100歳になっても200歳になっても、大いに社会に貢献する健康な壮年期企業であり続けることを目指していきます。

コーポレート・レポートを通じて

企業が利潤追求することは当然ですが、現代ではそれだけではなく、「CSR＝企業の社会的責任」を果たすことが求められています。本書は非財務情報といわれる「人材育成」「労働衛生」「環境」などへの当社の考え方とその活動をまとめています。ステークホルダーの皆さまには、当社が「信頼できる企業」であり、中長期に付き合うことができる企業であることをお伝えしたいと思っています。

ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見ご感想をいただきますよう、お願いいたします。

2018年8月

2016年1月改定

企業理念

- 人に興味を持つ
- 新しいことに興味を持つ
- 未来に興味を持つ

行動指針

- 人間は面白い。
その面白い人間が作っているのが企業であり、また顧客です。全ての経済原則、経営理論は、人の行動原理に基本があります。人に興味を持つ。
- 新しいことはワクワクする。
技術革新や商品開発は顧客や市場を開拓すると同時に、人間も活性化します。新しいことに興味を持つ。
- 未来を考えることは楽しい。
未来は子供たちのものです。未来を考えれば、人も企業も自分だけでは生きていけないことが分かります。顧客の発展が無ければ、当社は富んでも長続きしません。更に、社会に生かされなければ、人も企業も存続し得ません。未来に興味を持つ。

一方、当社には1968年に制定した、社是「必達」が存在します。上記の企業理念と共に、歴史ある社是「必達」を誇りを持って遵守しています。

社是

必 達

私たちはカラーエージをになう大日精化の社員として
〈必達〉の社是のもとに誇りを持って仕事をすすめよう

- 1、仕事は必ず目標を立てこれを必達しよう
- 1、正しい製品知識を身につけ製品普及のチャンスを積極的に求めよう
- 1、仕事を通じ製品を通じて会社の信用を更に高めよう
- 1、社会人として常に教養を高め反省を深める機会を持つ
- 1、仕事を通じて社会に貢献し大日精化を最高の企業体としよう